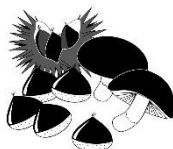


福原中だより



福の里



第 4 号

令和8年8月31日(月)

【学校教育目標】

知・徳・体のバランスの取れた人
間性豊かな生徒の育成

【4つの伝統】

あいさつ・歌声・清掃・ボランティア

【目指す生徒像】

☆思いやりのある生徒

☆自ら学び、自ら考え、自ら行動する生徒

☆やり遂げる力を持った、たくましい生徒

☆自校を愛し、郷土を愛し、その発展に尽くす生徒

2学期のスタートにあたって

校長 矢部智史

39日間の夏休みが終わりました。この間、全国各地で様々な災害が発生しました。特に、熊本県を襲った大地震や千葉県を中心とした水害では、大きな被害が生じました。しかし、それらの災害はいつ川越で起こってもおかしくない事象です。命の危険が高まっている環境下で生活することに大きな危機感やストレスを感じざるを得ませんが、身近な災害を通して、私たちは如何なる場合においても生命を尊び、幸福を追求し、生への営みを続けていくことが大切です。

昨年は、戦後80年の節目の年ということで様々な催しや報道がありましたが、今年は1年プラスして81年ということになります。この間、日本が不戦を貫いたという事実は、とても大きな意味を持っていると思います。そこには先人たちの苦労や平和への熱い思いがありました。私たち戦争を知らない世代は戦争の悲惨さや言葉では言い表せない苦労を体験したわけではありません。したがって、先人たちの「二度と戦争は起こさせない」という不断の意志を、強い決意をもって引き継いでいかなければいけません。「戦後81年」というワードが「戦後100年」「戦後200年」と形容されるような未来にしていきたいと思います。

さて、今日からいよいよ2学期が始まりました。生徒たちにはしっかりとした目標と高い志を持ち、ひたむきに努力し、主体的に考え行動する充実した学校生活を送ってほしいと願っています。また、2学期には合唱祭が予定されています。1学期の体育祭と同様、1つの目標に向かって切磋琢磨し、学級や学年、学校が大きく成長する行事にしたいと思います。合唱祭を成功させるための日々のプロセスと努力の積み重ねにより、ウェスタ川越の大ホールに素晴らしい歌声が響き渡るのがとても楽しみです。



立秋後も真夏顔負けの暑さが続いていると言いつつも、五感を研ぎ澄ませば、セミの鳴き声もアブラゼミ、ミンミンゼミと移り、最近はずくずくボウシの鳴き声も耳にするようになりました。夜にはコオロギを筆頭に、秋の虫たちの鳴き声が日増しに大きくなっています。少しずつではありますが、秋の気配が漂い始めていることを実感します。「暑さ寒さも彼岸まで」という言葉通り、9月下旬になれば、夏の空気もがらりと入れ替わると思います。それまでは、熱中症等に留意して、充実した学校生活を送ってほしいです。

2学期もこれまで以上に「安全・安心」な学校経営を目指し、教育活動を展開してまいります。状況によっては、急なメール配信や通知、ご理解ご協力をいただく場面等もあらうかと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。